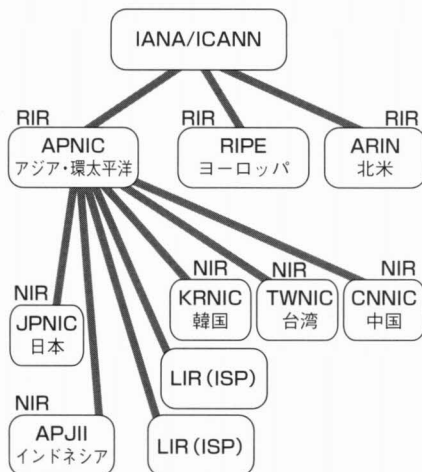


## APNIC

## Asia Pacific Network Information Center

ICANNの下に構成されるアジア太平洋地域のレジストリ。インターネットプロトコルやAS番号などインターネットの資源を管理

図1 各NICの関係



<http://www.apnic.net/>

## ■ 組織概要

APNIC はアジア太平洋地域を担当する地域レジストリの1つであり、IANA (Internet Assigned Numbers Authority、現在 ICANN として再編成されている) の下の階層を構成している。レジストリというのはインターネットの資源（インターネットプロトコルアドレス、AS番号など）を管理する組織であり、APNIC の下には NIR (National Internet Registry) と呼ばれる国別レジストリと LIR (Local Internet Registry) と呼ばれる会員（ほとんどが ISP）が位置する。

## ■ 活動内容

IP アドレス、AS 番号の割り当て、その情報データベース (whois) の管理、逆引きドメイン名の委任、情報提供、教育支援を主な業務としている。ウェブページも頻繁に更新され、活動内容、最近の動きなども簡単に解るようになった。現在 IPv6 の割り当てに力を注ぐ。この5月にRIR (地域レジストリ) のコン

センサスでできあがったポリシードキュメントを発表し、6月からいよいよ実験用ではない TLA の割り当てが始まっている。事務所を東京からオーストラリアのブリスベンに去年の5月に移し、新しいディレクター・ジェネラルの Paul Wilson を8月に迎えスタッフも充実させた。今年3月にシンガポールで開かれた APNIC の総会では、理事を7人の体制とし、より多くの会員の意見が採り入れられるようになった。コンサルティング会社に委託して会員からの要望意見を吸い上げようという努力もなされ、より良いサービスをめざして着々と進んでいる。

(チョング・フォング・芳子 JPNIC)

## ●●● 問い合わせ先 ●●●

APNIC

E-mail : [yoshiko@nic.ad.jp](mailto:yoshiko@nic.ad.jp)  
TEL、FAXはJPNICが窓口となる

## APNG

## Asia Pacific Networking Group

アジア太平洋における商用・学術研究両ネットワークに関する組織。インターネット関連の数々の組織を生み出している

## ■ 組織概要

APNGはアジア太平洋におけるインターネット関連団体の中で一番古い。APNGはWG (ワーキンググループ) に分かれて活動する。現在の WGは、Developing Countries、Education、Internationalization (中国語のサブWGを含む)、APSIRC (Security and Incident Response Coordination) である。

WGの前段階はBoF (Birds of a Feather) という形態をとる。現在のBoFは、Disabilities、AIII、Cache、XDSL、SLAP (Service Location) である。

WGおよびBoFの活動内容は随時変化している。最新の情報は<http://www.apng.org/>を参照されたい。問い合わせ窓口のメールアドレスはapng-sec@apng.orgである。

APNGは多くの組織を生み出してきた。APNIC、APLe (Policy and Legal group)、APIA (Internet Association) はAPNGを母体として発足した。国際会議のAPRICOTも、これら関連組織のメンバーが

中心となって運営している。最近ではICANNの活動に呼応するAPTLD (Asia Pacific Top Level Domain Forum) を誕生させた。

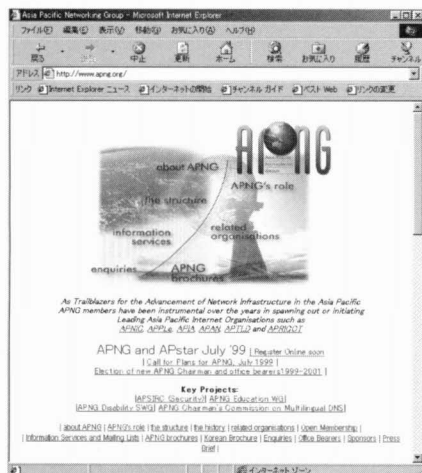
APNGは極めてオープンな組織である。会合の参加費を取らず、会費も徴収しない。このため、多くの人が自由に参加できた。今後は、APNGのオープンな特徴を保ちつつ、より堅固な組織となるように関係者が検討を進めている。

(後藤滋樹 早稲田大学教授)

## ●●● 問い合わせ先 ●●●

APNG

E-mail : [apng-sec@apng.org](mailto:apng-sec@apng.org)



<http://www.apng.org/>



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)